

ゲンジボタル発生地の保護は

村上 博昭 議員

答 29年度より再生事業を実施する



天然記念物を示す石碑

問 ゲンジボタル発生地として国の天然記念物の指定を受けている船小屋地区だが、現在の状況は。

社会教育課長 取り消しにならない前提のもとで現在、文化庁とも一緒に

社会教育課長 天然記念物指定地域の5地点において平成21年よりホタルの観測を行っている。中ノ島公園東端より上流では1日数匹を確認できているが、下流では確認できていない。

天然記念物指定の取り消しのおそれは

問 ホタル再生に向けての取り組みは。また、天然記念物の指定の取り消しのおそれはないか。

商工観光課長 船小屋地区にホタルの舞と観光客を呼び戻すこと。また、ホタルの人工養殖のための溝の管理はほたる保存会が活動を担っている。

市長 ゲンジボタル発生地「船小屋」を復活させなければならぬ。そのためにはほたる保存会や地元の協力が必要である。

ホタル溝の整備は

問 ホタル溝の整備の目的と現状、今後の方針は。

商工観光課長 船小屋地区にホタルの舞と観光客を呼び戻すこと。また、ホタルの人工養殖のため

なって取り組みを展開している。まず27年度から2か年で現状把握のための調査を実施。29年度から国と県の支援を受け、みやま市と合同で再生事業を実施する計画である。

プレミアム商品券の効果の検証は

北島 一雄 議員

答 アンケート調査を実施して検討する

問 事業の目的は。

市長 景気対策。景気低迷、地域経済は年々厳しさを増す状況にある。

問 発行額、プレミアム率の根拠は。

商工観光課長 発行額5億円については県の要請や臨時交付金の内示額による。プレミアム率20%は近隣自治体の聞き取り調査にて決定した。

問 商品券の発行は、何を、誰が、どこで使うのが重要な要素だが。

企画財政課長 財源は地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金。早期の経済好転化、消費喚起が使用目的。1月に国が、市も3月に補正予算を組んだ。十分な検討期間がない中、こういう形になった。

問 みんなが買えるよう

にして欲しいと言う要望が多い。申し込み方法が往復はがきによる予約販売制にしたり、プレミアム率50%の商品券を子育て世帯の生活支援として発行している自治体もあるが。

商工観光課長 今回の商品券発行事業については国の要請で、指示された様式でアンケート調査が実施される。効果を検証し、発行方法などを検討する。



5月に発行されたプレミアムダイヤモンド商品券 (商工会議所発行)